



世羅高 同窓会報

同窓会改革特集号

発行
広島県立世羅高等学校
同窓会
世羅郡世羅町本郷870番地



『同窓会改革特集号 発刊によせて』



同窓会会長 小島 敏文
(昭44高卒)

同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にて、ご活躍のことと拝察お慶び申し上げます。

私達の青春を育んでくれました母校も、創立以来百十五年の歴史を刻み、卒業生も一万七千四百十五名に及び、広島県内はもとより、全国的にも押しも押されもしない歴史ある伝統校として発展して参りました。

在校生も校訓であります「文武不岐」を学校生活の基本に置いて頑張っています。特に男子陸上競技部は、六回におよぶ全国制覇を達成し、更なる飛躍をめざし日々努力を重ねています。

地域に身近な学校として、地元住民はもとより、卒業生すべてに世羅高を応援して頂いております。振り返って世羅高等学校の歴史

は旧制世羅中学校、旧制甲山高等学校が統合し、世羅高等学校へと変遷してまいりました。全国各地また台湾へ同窓会があり、今日までそれぞれの地で総会及び、各行事が行われております。

本校同窓会に於きましては、毎年八月の第三日曜日を総会日と定め総会を開催してきたところであります。しかし年々同窓会総会への出席者が減少し、同窓生の高齢化と共に、新制高校卒業生の出席が少なく、同窓会本部としても、一人でも多く出席を促す為に、テレビホンカードの作製・先輩同窓生による講演・駅伝優勝記念碑除幕式・旧制世羅中学校、旧制甲山高等女学校・世羅高等学校それぞれの校歌や応援歌をCDに収め発刊する等、様々な取り組みを行って参りました。そうした中、この度同窓会をもっと活発なものとする為に、抜本的に組織改革をすることと致しました。

一昨年の同窓会総会において「同窓会改革検討委員会」を立ち上げ、今日まで数十回の委員会を開催し、大幅に規約の改正等を行い、特に同窓会をより円滑に運営する為に六委員会を置く事に致しました。それぞれの委員長は同窓会副会長が担当し、調整に当たって頂く事としております。既に広報委員会においては、毎年十二月に発行してまいりました同窓会報を、今年からは総会(八月)にあわせて発行する事になりました。又会員名簿委

員会においては、今年還暦を迎えられる皆様、同窓会総会の案内と共に、還暦同窓会を促すハガキを発送し、一人でも多くの出席者をめざす取り組みを行って頂いております。(還暦を迎えられる皆様に毎年発送し会員名簿の確認にも役立てることとなります。)

さらに、総会開催において、当番幹事制度を設けておりますが、卒業年度毎に、予め幹事を決めてあり、二年度が一組となり当番幹事を務めることになっております。当番幹事が主体となり総会の運営を行います。幹事としての認識がほとんどの人に無かった事を反省し、早い時期(総会一年前)から準備をお願いする事に致しました。今回の当番幹事さんの発案により、事前に参加券を販売する事を提案頂き実施しております。

こうした取り組みを通して、会員相互の交流が促進され、同窓会がより活発に機能することになればこれに過ぎる喜びは、ございません。同窓会改革検討委員会の皆様には、大変ご多忙の中を何回も委員会を開催頂きましたこと、衷心より感謝申し上げます。次第でございます。



『元氣・感動・笑顔』



学校長 藤井 彰一

同窓会会員のみなさまには、本校教育の充実・発展のために日頃よりご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝を申し上げます。

本校は、現在まで一万七千四百十五名の卒業生を輩出してきた百十五年の歴史と伝統を誇る高等学校であり、卒業してゆくすべての生徒が「世羅高校で学んでよかった。また学ぶなら世羅高校で学びたい」と自信と誇りを持って言える充実した教育活動を展開してゆく使命があります。

わたくしは、『文武不岐』の精神の基、「世羅三訓」の実践を今年度の重点目標のひとつとして強調したいと考えています。

- ①挨拶励行
- ②時間厳守
- ③整理整頓

たった一度の人生だからこそ、生徒の皆さんには、時間を大切に、ルールを守り、明るく挨拶ができ、学習に燃え、部活動に情熱を注ぐなかで、この一年間が楽しい思い出づくりをする年であってほしいと願っています。

今年三月十一日(金)には東日本大震災が起こり甚大な被害をもたらしました。死者は一万五千人を超え、行方不明者は五千人弱となっており身元確認は困難を極めています。今も多くの方々が自由な避難生活を送っておられますが、その一方で、元氣を出し復興のために立ち上がり、尽力されている方々もおられます。

今も強い余震が続いていますが、できるだけ早く元の生活が送られるよう願うばかりです。

私は、今年度の入学式と一学期始業式で、東日本大震災の多くの被災者のことに触れ、生徒たちに『元氣・感動・笑顔』で頑張ろうと話しました。生徒たちの高校生活の一日一日が充実したものとなり『元氣・感動・笑顔』いっぱい的一年になることを願っています。今年度はチャレンジハイスクールの指定(県内十五校)を受けて授業改善と進路指導の充実のために取り組んでいます。そして、三年生の就職希望者が百分の就職内定を獲得するとともに、国公立大学進学希望者(今春の国公立大学合格者は二十四名)を始めとする上級学校への全員合格をめざし、夏期補習や世羅塾などに学校全体で取り組んでいます。また夏休みに農業経営科、生活福祉科の生徒は、インターンシップで地域の農園・事業所に出かけて貴重な就業体験をする計画です。

部活動も活発で、たくさんの方々の運動部が県大会に出場し成果を上げています。また、陸上競技部は八月のインターハイ(岩手県)に五名出場するなど着実に力を付けています。文化部も六月の文化祭で展示等により成果を示し、吹奏楽部の演奏や書道部の創作パフォーマンスも見事でした。

今後とも、伝統ある世羅高校同窓会の益々の御発展を祈念いたします。また会員の皆様には、温かい御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

「開かれた同窓会」を目指して

同窓会副会長 瀬尾 圭三 (昭36卒)

一、はじめに

私たち同期は昭和三十六年三月に卒業しました。卒業以来もう半世紀が経過したのかと改めて月日の経つ早さを実感しています。古希が近づいてくると、同級生はどうしているか、同窓会、同期会はどうなっているのだろうか、等々色んな面で過去を振り返ることが多くなります。

これまで先輩の方から同窓会・懇親会へ再三参加するようにとの声をかけていたと思いますが、勤務の関係で実現できませんでした。やつのことで平成二十年八月の同窓会総会・懇親会に初めて参加

させていただきました。卒業以来四十七年目の参加となりました。その時の参加者は三十余名でした。総会・懇親会は、参加者のほとんどが私よりだいたい先輩の方で、毎年参加されているようで、会そのものはすごく盛り上がり、和やかで楽しそうでした。三十余名の中には、陸上競技部OBへの動員がかかっているようでした。

初めて参加した者にとっては、新鮮ではありましたが、これが創立百十周年の歴史と伝統ある母校の総会・懇親会かと驚きと同時に寂しさを感じました。学校では陸上競技部(駅伝)が全国大会へたびたび出場し、過去六回全国優勝を達成しその度に、町全体が祝賀ムードに包まれます。

しかし同窓会の現状を眺めたととき地元在住の卒業生の声は、総会・懇親会は「全く関心がない」「特定の人の集まり」「敷居が高い」等々の理由で参加する意思が全く見られないありさまでした。ただし、関東、近畿等では同窓生の皆さんは母校愛に燃え、同窓会支部として活発に活動されていると伺っています。肝心な広島県を中心とした地元在住の卒業生の世羅高校同窓会への帰属意識が極めて希薄になっていることに気付かされました。地元の卒業生でさえそうですから、地元を離れて活躍されている多くの卒業生の皆さんも同様の感覚ではないかと推察しております。これは一大改革が必要だと

感性が光るアートな写真 残しておきたい思い出の写真

ホームページで多くのお友だちの笑顔に出会えます。ぜひ 広島県高校駅伝、中国高校駅伝、速報写真掲載中!!

アート写真光房 阿部写真館

アート光房(EXFUZE)

http://www.cameraman-abe.com/ Eメール: info@cameraman-abe.com

世羅町本郷

TEL:0847

22-0213

トヨタ車のことなら 指定民間車検場 スズキサービス指定工場 トヨタサービス指定工場 ボディーフレーム修正工場

アラタニ・オート(株)

TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

TOCHU GROUP スズキ専門店

スズキオートSHOP

TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

思い、何人かの役員の方々に改革の必要性を訴えました。口火を切った手前、改革から逃げるわけにはいきません。批判は誰でもできますが、いざ改革等に取り組みむとなかなか行動が伴わないのが一般的な傾向です。たまたま、私は学校関係に長年携わってきたので、同窓会、PTAのことはある程度理解しているつもりでしたので、改革に率先して協力することに何ら躊躇することはありませんでした。改革に向けて取り組むためにプロジェクト委員会「世羅高等学校同窓会改革検討委員会」が設置されて検討をすることになり平成二十一年八月活動をスタートいたしました。

二、世羅高校同窓会の現状と課題
 (一) 同窓会規約は、これまで何度か部分的な改正はされているが、きめ細かさが足りない。このことは同窓会が沈滞していく要因の一つになっている。

(二) 同窓会名簿が近年修正、追加削除等がなされていない。
 (三) 同窓会総会・懇親会への参加者が極めて少ない。
 (四) 多くの役員、常任理事、当番幹事の方が、総会はもとより諸会議への欠席が多く、会議がまともにも成立していない。

(五) 役員、常任理事、当番幹事の中には自分が担っていることすら知らない方もある。

三、「世羅高等学校同窓会改革検討委員会」設置の趣旨

同窓会規約第三条(目的)は「本会は会員一致協力して相互の親睦・向上と母校の発展を図ることを目的とする。」とありますが、実態はどうか分析し、見直しが必要な事項は徹底的に見直し、「開かれた同窓会」に向けて改善を図り、母校の発展に寄与することを目的としました。検討結果は役員会、総会へ提案して承認を得て実施することになりました。

四、プロジェクト委員の構成

プロジェクト委員は、同窓会役員の方を中心に、次の方々に委嘱することになりました。
 小島敏文(委員長、昭44卒)、瀬尾圭三(副委員長、昭36卒)、三好英雄(昭26卒)、松島延江(昭28卒)、森田 努(昭29卒)、阿部玲子(昭29卒)、大田良晴(昭37卒)、兒玉眞徳(昭40卒)、玉浦洋明(昭49卒)、神田敬州(書記、昭57卒)の十名です。委員会が目的を達成したら、プロジェクトは解散になります。

五、検討期間
 平成二十一年八月十七日から一年間とし、内容によって期間延長が必要な場合は延長する。

六、検討を開始するにあたっての確認事項
 (一) 過去には絶対にこだわらない。これまでではこうだった、ああだった、等の意見がよく出ますが、こうした意見が中心になりだしたら改革、改善は不可能なので、このような意見は厳に慎むことを確認しました。

(二) 伝統校の同窓会を研究する。世羅高校の中だけで検討したのでは井の中の蛙で、建設的な意見はなかなか期待できないし、改革、改善には繋がりにくいことを確認し、伝統校として、国泰寺高校、皆実高校、観音高校、広島商業高校、広島工業高校等を研究することにしました。

七、主な改正点
 規約が全ての原点になるため、規約改正を最大のポイントとし、次のように改正点を整理しました。
 (一) 規約をセクションにまとめる

第一章「総則」第二章「会員」第三章「役員及び顧問」第四章「会議」第五章「委員会」第六章「会計」第七章「当番幹事」第八章「事務局」

(二) 役員会構成の見直し
 (三) 諸会議出席困難な役員交代検討

(四) 役員の任期を二年に短縮
 (五) 六つの委員会設置(六名の副会長がそれぞれの委員長)
 総務委員会、財務委員会、広報委員会、事業委員会、母校振興委員会、会員名簿委員会

(六) 事業年度を四月一日〜翌年三月三十一日に変更
 (七) 当番幹事を規約に位置づける
 (八) 事務局を規約に位置づける
 八、平成二十三年度同窓会・懇親会開催に向けての取り組み
 (一) 参加者募集は、役員、常任

理事、当番幹事が各同期生に働きかけ、三名以上勧誘する。
 (二) 当番幹事代表(三名)は当番幹事全員に当番幹事であることの確認、役割の確認
 (三) チケット制の導入
 参加者を募る場合、チケットを三枚以上渡して事前に会費を徴収し、参加を確認する。
 (四) 会場については、参加者一〇〇名を超えることが期待されることから、社会福祉協議会ホール、JAホール、夢公園の中から、幹事が主体的に判断し決定する。
 (五) 会費男性五、〇〇〇円、女性四、〇〇〇円、学生三、〇〇〇円とする。

以上について、今年度幹事長の前、卓治さん(昭34卒)を中心に、当番幹事の皆さんが再三三合会を持たれ、かつてない結束で準備に取り組んでいたいただきました。
 今年の同窓会総会・懇親会は記念すべき改革元年の総会・懇親会です。参加者全員で盛り上げたいものです。課題はまだまた沢山あります。今後一層の改善を重ね同窓会が地域に根差し、地域から期待される同窓会、後輩から頼られる同窓会、「開かれた同窓会」をめざして新たに歩み続けます。同窓会・学校・PTAの三者が一丸となったとき、母校発展に向けた支援体制は盤石となります。

新車/中古車販売・車検・修理
 東京海上日動代理店
有限会社 近藤プランニング
 〒722-1112 広島県世羅郡世羅町本郷635-1
 TEL0847-25-0303

一般鋼材・ステンレス・アルミ各種加工
上野鉄工所
 上野 悟(昭和52年卒)
 〒722-1112
 広島県世羅郡世羅町本郷36-3
 TEL&FAX(0847)22-1322

委員会活動について

一、総務委員会

委員長 瀬尾 圭三 (昭36卒)

総務委員会の任務は「年間計画作成、他の委員会に属さない事項は全て担い、全体調整を行う」ことです。未だ二回しか委員会は開催していませんが、次の点について委員会で十分検討して、役員会等しかるべき機関へ提案していきたいと考えています。主な検討課題は「規約の一部改正」に関する事です。新規約は抜本的に改正され、スタートしたばかりですが、未だ何点か課題が残されています。具体的には年一回の同窓会総会・懇親会の開催期日、終身会費、諸会議の在り方等々に関する件です。同窓生の皆様のご理解、ご協力がいただける内容にしなければならぬと決意を新たにしています。

二、財務委員会

委員長 近田谷正治 (昭42卒)

財務関係事項及び会計事務について的主だった検討内容等は、次のとおりです。
①財産目録の管理については、同窓会の活性化のために同窓会館を会議等で積極的に活用すること。
②金銭出納帳の確認管理については、会計事務を高校サイドから同窓会サイドに移行することに伴い、円滑適正に同窓会会計事務を処理すること。
③決算予算を作成し、役員会には

かるについては、同窓会規約改正に伴い、本年度は移行年度となること。したがって、予算決算の期間にあたっては、本年度より、四月一日より翌年度の三月三十一日となること。

三、広報委員会

委員長 大田 良晴 (昭37卒)

業務内容として、「同窓会、学校の広報活動として同窓会報の発行(年一回)」です。同窓会報については、前十二号迄は十二月一日発行でありましたが、今回十三号よりは八月の総会発行となります。今回は時間的な制約もあり、新たな歩みを始める同窓会の改革特別号として発行します。次号よりは、余裕をもった編集を行い、内容の充実した会報の発行をめざしたいと思えます。

四、事業委員会

委員長 阿部 玲子 (昭29卒)

本校の「食堂」と「自販機」の現状について調べてみました。昭和五十一年に同窓会館一階に開設されたが、数年間で閉鎖されました。平成十六年、PTAと業者の委託契約により再開し現在に至っています。

二、「自販機」について

PTAと業者との契約により設置されています。今後、関係部門との話し合いを行い、生徒により良いものが提供

五、母校振興委員会

委員長 波田 幸代 (昭37卒)

委員会として、先ず学校長より学校の現状について説明を受けました。

同窓会としてどの様なお手伝いができるのか検討中であります。クラブ活動において、運動部への応援や文化部への支援。六次産業と連携しての地産物産品の支援。文化的な面では、PTAと連携しての講演会等の意見も出されております。今後は具体化に向けて取り組んで行く予定です。

六、会員名簿委員会

委員長 玉浦 洋明 (昭49卒)

名簿委員会の活動は、毎年開催される同窓会総会に、還暦を迎えられる同窓生に総会の出席の案内と名簿住所の確認活動をさせていただきます。住所変更は同窓会事務局で更新させていただき管理したいと思っております。

同窓生のみなさんでクラス会等の世話をされている方は、他の名簿委員へもお知らせ頂き、住所録作成の協力をお願いします。

連絡先 世羅高校同窓会事務局
0847-222-1118

- (東大田) 栗原 芳枝 (昭41卒)
- (津久志) 長久 信 (昭36卒)
- (久井) 秦 良子 (昭42卒)
- (西大田) 森宗 有香 (昭58卒)
- (甲山) 大谷 敏朗 (昭48卒)

学校便り

一、世羅高校国際交流推進会議について

この会は、ケニア共和国をはじめとする諸外国との国際交流活動を通じて、教育及びスポーツ、社会教育、文化活動等の相互交流活動を推進し、世羅台地を中心とする地域の活性化を目的に結成され、以来十年間、ケニア共和国からの留学生の受け入れ、台湾「大同高級中学」との交流を重ねてきました。おかげさまで会の活動も円滑に進み、着実にその成果も現れています。

とりわけケニア人留学生の活躍は目覚ましいものがあります。生活態度もまじめで、陸上競技に対する情熱はすばらしいものがあります。日本人選手が受ける影響も大きく、留学生と練習を共にすることで、競技力、人間性が数段向上しているものと思えます。今年度は三名の留学生を受け入れております。彼らの日本での生活費はこの会の会費から捻出されており、同窓生の皆様方には、全国大会出場時の寄付等でもご支援いただいております。誠に恐縮ではございますが、この会の趣旨もご理解いただき、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。

いつでも電話でお気軽に
総合建設業

(有)坂上建設

TEL 23-0231(代)
FAX 23-0232
夜間 23-0511

世羅町宇津戸3453-1

出光興産株式会社販売店

芸備燃料株式会社

代表取締役 坂 東 辰 男

本社
〒722-1112 世羅郡世羅町本郷812-4 TEL0847-22-2121
世羅バイパスSS
〒722-1112 世羅郡世羅町本郷654-1 TEL0847-22-1151
世羅配送センター
〒722-1111 世羅郡世羅町寺町1871-1 TEL0847-22-1136

「台湾修学旅行記」
3年6組(旧2年6組) 福本 杏香

私は台湾へ修学旅行に行くことになった時、正直あまり期待していませんでした。言語もそうですが、台湾のこと自体がわからず、不安のある中、世羅を出発したことをよく覚えています。

飛行機から降りて台湾という地に着いたとき、ついに私は海外に来たんだなと感じました。移動しているのだんだんと台湾らしい町並みになってきて、少しずつ私の気持ちも高まっていきました。

まず、私が気になっていた衛兵の交代式を見に行きました。本場に動かない。これには驚きました。息もぴたり合っていて、見ごたえのあるものだなあと思いました。また、もうひとつ印象に残ったのは、大同高級中学との交流です。言葉の壁は厚いと感じましたが、お互いに伝えようとするのがきちんと伝わるんだと感じました。自分の言いたい事も伝えることが出来たので、自信にもつながったように思います。

この修学旅行を通して、大同高級中学でもそうですが、町にいたくさんの人に優しく接してもらった気がします。外国から来た人だからということもあるかもしれませんが、気さくに話しかけるといった、ちょっとした優しさは、日本ではあまり感じられないことだと思いました。今回自分がその

ような優しさに触れ、改めて大切なことに気づいたように思います。これからこのことを生かしていきたいと思えます。

*平成22年度修学旅行は平成23年1月18日〜21日に3泊4日で実施。
大同高級中学は、平成14年から世羅高校が姉妹校提携をしている台湾の高等学校。締結来、本校の修学旅行は、毎年台湾を訪れている。

二、NPO法人国際交流教育 ネットワークについて

二年前、ニューヨークのソントン・ドノバン校(TD校)と世羅高校は姉妹校締結。3月中旬に世羅高校から、ニューヨークへ、また6月下旬にはソントン・ドノバン校から世羅へ、それぞれ交換留学を実施。今回は2回目。3月には世羅高校から9名が訪米。6月にはソントン・ドノバン校から16名が来校。NPOの皆様・ホームステイ先家族の皆様をはじめ、地域の方々の多大なご支援をいただきながら、国際化の時代に対応した実践を行っている。



来日記念植樹

「ニューヨークでの経験から」
3年7組 山口 大輝

今回ニューヨークのTD校への短期留学という機会を与えて頂いたことに感謝します。ありがとうございました。

今回2週間の短期留学は自分の人生においてほんの一部の時間ではあるけれど、これからの人生を大きく変える期間であったと言えます。その2週間の体験を振り返って感想をまとめてみたいと思います。

TD校の生徒は先生がしゃべったことや黒板に書いたことを自分のパソコンにまとめながら授業を受けていました。彼らは鉛筆やノートは使いません。また校舎も一般的な学校と違い、4つくらいの家を買って、小さな部屋をリフォームして教室にしました。TD校はまるで大きな家族のように感じました。TD校では僕たちのためにホールを借りて歓迎会を開いてくれました。TD校の生徒たちはステージの上でダンスやギター演奏やピアノ演奏や歌などを披露してくれました。それはそれは素晴らしいものでした。僕は世羅高校の交換留学生9人を代表して「We are the world」をステージの上で歌いました。さびの部分は会場にいるみんながいつしよに歌ってくれました。歌が終わると拍手と歓声に包まれた気分になりました。この歌は世界共通のメッセ

ージなんだなと感じました。

今回の短期留学の目的である平和についてはアメリカ人の考え日本人の考えをきちんと交換することができました。僕はこの話をするために1つの原爆の本を持って行きました。「赤いボン」という広島市の原爆での二次被爆を題材にした物語を紹介しました。原爆に関してどう考えるかを質問したところ、ホストママは「今の私たちの年代は原爆は昔のことなので、被害の具体的な数字などを客観的にしか学んでないから、アメリカか日本かどちらが悪いなどと深く考えたことはない。でも私たちの一つ上の両親に当たる世代はちょうど戦争にかり出されているので敵対意識が強く、日本製のものや日本が関係していることには一切関わらない。日本を否定的にみている。」と言っていました。核兵器を保持していることに関しては「あまり意識していない。でも理想は全世界から全ての核兵器がなくなることであって、みんながそれを願っている。ただ、どの国も沢山の核兵器を持つから不安になって次から次に増えている。」という意見でした。その他にも「テロが多いと見られているかもしれないけれど、それは宗教にかかわる人たちの間で過剰な一部の人が勝手にテロを起こすのであって、アメリカ人が起こすわけではない。そんなテロの組織の人も、今もなお戦場で戦っている兵士も国もみ

手造りのおもてなし
法事・慶弔料理・仕出し・宴会の予約承ります

ファミリーレストラン

ダイニー

世羅郡世羅町西上原483-3
TEL(0847)22-0322 FAX(0847)22-0405
http://www.fr-tiny.co.jp/

itc 警備保障事業部(広島県公安委員会第434号)
人材派遣事業部(般34-300074)

じつとく
株式会社 實徳コーポレーション

〒722-1112 広島県世羅郡世羅町本郷39-7
TEL(0847)25-5271 FAX(0847)25-5272
(0847)22-0500

んな共通して思っていることは、自分の子供が安心して安全に生活できる環境を作りたい、家族を守りたいという単純なことである。日本の平和は兵器を持たずに平和を維持するという考えらしいけど、それが理想だと思う。」という考えを持っていました。

僕の意見として「日本は原爆、アメリカは真珠湾攻撃と、同じように被害を受けている。お互いの国が被害者であって加害者である。お互いの意見を尊重しながら関係をもつとよい方向にもつていき、核兵器を初めて使った国、はじめて被害を受けた国として、世界の先頭に立って核兵器廃絶を呼びかけ行動する義務がある。」ということを伝えました。イメージしていた通りに意見交換ができました。この意見交換で一番言われたことは、「みんな家族が大切。それも誰も共通で変わらないんだよ。」ということでした。

全世界のみんなが平和を希求しています。しかし、現実にはそうなっていません。今回こうしてアメリカ人の平和に関する考えを聞いたことは、僕にとつてとても貴重な体験となりました。そしてこのことを世羅高校のみなさんにも伝えたいと思いました。今回、文化祭の最初にこのような機会を作ってくださってありがとうございました。後輩の皆さんもチャンスがあれば是非ニューヨークに行くためてみてください。貴重な体験がで

きると思っています。

三、進路状況および取り組み 進路指導部

今年の卒業生(平成23年3月卒業)の最終的な進路先は、4年生大学81名、短期大学9名、専門学校72名、就職(公務員を含む)は35名でした。国公立大学には24名の合格者をだすことができました。本校の卒業生の進路先は、多岐に渡っており、進路指導体制も多様できめ細やかな指導が求められています。大学全入時代といわれている昨今の状況ですが、安易に進路を決定せず、じっくりと自分の将来を見定めて、高い志しをもち、その実現のために一生懸命努力する生徒を育成していきたいと考えています。

今年度は、県教育委員会指定の「チャレンジハイスクール」15校の一つに本校が指定されました。チャレンジハイスクールとは、明確な進路目標を持ち、主体的に学習する生徒の育成を図ることを目的とした広島県の学力向上対策事業の一つです。具体的には指定校の生徒に対し、合同学習合宿、大学訪問、企業訪問を通して主体的・計画的な学習態度や地域社会の一員として、将来を見据え、社会の発展に貢献しようとする意識を高めようとする取組です。また、教員に対しては知識・技能の習得や

論理的思考力の育成に有効な指導方法についての実践的研究を行い、教員の教科指導力を高める取組み(教科指導力要請講座)が実施されます。

「自主的・自律的な態度を養い、将来の世羅台地の人材を育成する」という目標の下、教職員一同、頑張っていきたいと考えておりますので、同窓会の皆様も今後ますますの御支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

四、《農業経営科》

農業経営科に学科変更して2年目になります。新たに食品製造棟、環境制御温室、農業実習室を新設建設中し、学習環境も更に充実してきているところです。現在、農業経営科では、ブルーベリージャムプロジェクトや宇宙ダイブプロジェクト、広島地産地消事業など、地域と連携した活動をとおして、地域に貢献する人材の育成に取り組んでいます。今後も農業科の諸先輩方が培った「農業魂」を農業経営科に繋げていきたいと思えます。



実習風景

五、《生活福祉科》

生活福祉科では、2年次から生活経営類型と福祉類型に分かれて授業を行っています。生活経営類型では、生活に関する知識や技術をもとにファッション、栄養や調理、住生活や保育について学習します。家庭科技術検定、ワープロ検定、秘書検定などを取り入れ、将来、幅広い職業人として活躍できる人材の育成に取り組んでいます。また、福祉類型では、福祉に関する基本理念、専門的な知識や技術を学びます。介護福祉士国家試験受験資格(9か月の実務経験)と介護員養成研修(2級)をめざしています。老人福祉施設や高齢者とのふれあいなどのボランティア活動を通して、地域の高齢者福祉に貢献できる人材育成に取り組んでいます。写真は、平成23年2月に行われた「学びピア(学習発表会)」の様子です。

今後、家政科の伝統を受け継ぎながら、更に生活福祉科としての教育内容を充実させていきたいと思えます。



健康で住み心地の良いお部屋造
家屋を守る白蟻消毒

株式会社 もみの木畳店

世羅郡世羅町 TEL (0847) 22-1426(代)
FAX (0847) 22-1893

進物の玉浦
☎0847-22-1107
FAX.0847-22-1567

〒722-1121
世羅郡世羅町西上原612-2
営業時間/AM8:00~PM7:00
年中無休

クラブ紹介

★文化部

文芸部

- 部員数(男子3名、女子25名 計28名)
- 活動内容、目標・モットー
 - ・みんな仲良く。
 - ・いろいろな作品作りを通して自分を磨く。

書道部

- 部員数(男子5名、女子31名 計36名)
- 活動内容、目標・モットー
 - ・文化祭で書道パフォーマンスを発表したり、作品を展示する。

計18名

- 活動内容、目標・モットー
 - ・楽しく作品を作っていく。

茶道部

- 部員数(女子16名)
- 活動内容、目標・モットー
 - ・全員が確実にお点前できるようにする。
 - ・礼儀作法を学ぶ。
 - ・集中して部活動に取り組む。

科学部

- 部員数(男子2名)
- 活動内容、目標・モットー
 - ・全国高校科学グランプリ一 次選考突破

英語部

- 部員数(男子2名、女子4名 計6名)
- 活動内容、目標・モットー
 - ・レシテーションコンテストに参加する。
 - ・英語を楽しむ

吹奏楽部

- 部員数(男子11名、女子30名 計41名)
- 活動内容、目標・モットー
 - ・今年のスローガンは「響く Music Revolution 2011」です。自分たちの音の響きを成長させようという意味と、私たちの演奏を聴いてくださる方々の心に響かせようという、二つの意があります。部員一人ひとりがそれぞれの力を進化させ、Music Revolutionを起こし、コンクールで金賞を取ろうという気持ちで頑張っています。

写真部

- 部員数(男子6名、女子19名 計25名)
- 活動内容、目標・モットー
 - ・高校総合文化祭で一席に入賞し、全国大会を目指す。
 - ・撮影技術を向上させる。

美術部

- 部員数(男子3名、女子15名)

★運動部

陸上競技部

- 部員数(長距離男子39名、長距離女子19名、短距離男子7名、短距離女子2名 計67名)
- 部の目標
 - ・長距離男子：全国高校駅伝制覇
 - ・長距離女子：全国高校駅伝入賞
 - ・短距離：県大会出場

*全国高校駅伝に向けて

昨年度は、男子準優勝、女子17位という成績でしたが、その日から、男子は七度目の優勝、女子は初めての入賞という目標に向かって一年が始まっています。今年度に入り、男子については、チーム全体としては、故障者等も多く出て、なかなか調子が上がらないという状況であった。チームとしてはその様な状況ではあったが、個人的には、昨年より多い四名(五千メートル二名、三千メートル障害二名)の選手が、インターハイへ出場することができた。チームとしても、徐々にではあるが、調子が上がってきている。

女子については、春先から多くの選手が、自己記録を更新しており、インターハイ(三千メートル一名)に出場し、チームとしても着実に成長している。秋からの駅伝シーズンに向けて夏には合宿等でしっかりと走り込んでいる。インターハイに出場した選手、昨年全国大会を経験している選手、又新しい戦力となる選手、チーム一丸となつて、この十二月には、男女それぞれが、自分の目標を達成することができるように努力を続けていきたい。

バスケットボール部

- 部員数(男子26名)
- 大会目標

●県大会ベスト4

- 部のモットー
 - ・一人ひとりが日々前進できるように努力し、仲の良いチームワークで全員、バスケットを!

(女子)

- 部員数(女子10名)
- 大会目標
 - ・県大会出場

バレーボール部

- 部員数(女子9名)
- 大会目標
 - ・尾三地区上位入賞、県大会出場を目標にがんばっています。

ソフトテニス部

- 部員数(男子17名)
- 大会目標
 - ・県総体2回戦突破

(女子)

- 部員数(女子11名)
- 大会での目標
 - ・尾三地区大会ベスト4
 - ・県総体2回戦突破

卓球部

- 部員数(男子21名、女子4名 計25名)
- 大会目標
 - ・県大会A級出場

サッカー部

- 部員数(男子24名、女子6名 計30名)
- 大会目標

●県総体出場

ソフトボール部

- 部員数(女子14名)
- 大会目標
 - ・県大会出場
- モットー
 - ・挨拶をする。練習では集中して声を出す。

剣道部

- 部員数(男子6名、女子6名 計12名)
- 大会目標
 - ・県大会出場
 - ・中国大会出場
- 部のモットー
 - ・時間厳守

空手部

- 部員数(男子9名、女子4名 計13名)
- 大会目標
 - ・中国大会出場

硬式野球部

- 部員数(男子25名、女子2名 計27名)
- 大会目標
 - ・秋・春の県大会出場
 - ・夏大会ベスト8
 - ・モットー
 - ・何事にも集中し、大きな声を出す。

支部だより

東京校友会

会長 十河 研一
(昭和36高卒)

陸上競技部への応援を昨年も引き続き呼びかけたところ、年間を通じて百名を超える会員から賛助金が寄せられ、全国大会が行われる前に母校へお贈りしました。同時に、京都の応援にも参加しました。

東京校友会の主な活動は、毎年十一月の総会、年二回の会報発行及び親睦会を行っておりますが、今年に入つて、一月に「深川七福神巡り」を行い、史跡旧跡も多い深川の下町情緒に触れながら約二時間のコースを巡つて、一年の幸運を願いました。四月には、「千鳥ヶ淵緑道の観桜会」を催し、靖国神社、千鳥ヶ淵、戦没者墓苑等のコースで満開の桜を楽しみました。

また、今年三月十一日に発生した東日本大震災では、会員に死者はなかったものの被災された方がいたため、義援金を募集したところ、多くの方から浄財が寄せられ、家が大规模損壊の被災会員に災害見舞金をお贈りしました。被災された方々に改めて御見舞を申し上げると共に、ご協力いただいた会員各位にお礼を申し上げます。

会報「とうきょう世羅」は、第三十二号を四月三日に発送。同三

十三号は、十月二日の発送に向け、現在鋭意編集作業中です。

今年の総会は、十一月二十日、恵比寿ガーデンプレイスにおいて、小島同窓会長、藤井校長等多くの来賓をお迎えし開催する予定です。

近畿同窓会

会長 松尾 千九三
(昭25高卒)

平成二十二年度の経過報告を致します。

平成二十二年
四月十日 関西同窓協議会
総会に参加 (大阪弥生会館)

四月二十九日 役員会開催 (新年度総会等事業について打合わせ)

五月二十三日 広島県人会総会
ふるさとふれあい祭りに参加
(ホテル大阪ベイタワー)

六月十三日 世羅高近畿同窓
会総会開催 (大東洋)

七月一日 関西同窓協議会
一日旅行に参加 (京都・伏見)

七月二十四日 関西同窓協議会
役員会 (臨時)

八月十二日 全国高校野球選
手権 広陵高校 (一回戦) 応援
に参加 (甲子園)

八月十五日 母校同窓会総会
(玉の家)

九月十一日 関西同窓協議会
幹事会 (大阪弥生会館)

十月二十三日 役員会開催 (駅
伝カンパ・役員人事等について
打合わせ)

十一月七日 母校選手全国高
校駅伝大会広島県予選会出場 (三
次市) (男子・女子揃って優勝)

十一月二十二日 関西同窓協議会
一日旅行に参加 (京都・大嵯崎
美術館他)

十一月二十八日 役員会開催 (駅
伝全国大会出場カンパ依頼封筒
入れ作業等)

十二月五日 広島県・関西同
窓協議会幹事会 (終) 後、「忘年会・
懇親会」に参加 (大阪弥生会館)

十二月二十四日〜二十五日 母校
より小島同窓会会長・戸野校長
が来阪 (企業他) に挨拶

十二月二十六日 母校全国高校駅
伝大会に出場 (西京極陸上競技場)

(男子準優勝・女子十七位)
平成二十三年
三月十二日 広島県・関西同
窓協議会幹事会に参加

三月十九日 選抜高校野球選
手権出場の総合技術高校の歓迎
激励会に参加 (新大阪駅)

三月二十六日 選抜高校野球選
手権の総合技術高校一回戦に
応援参加 (甲子園球場)

三月二十七日 役員会開催 (新
年度総会等について打合わせ)

呉支部

支部長 大原 重徳
(昭33高卒)

港ターミナル展望棟

呉港ターミナルの建物は三階建てであるが、一部が五階建てにな

つていて、そこが展望棟になって
いる。今回はそこを案内したい。

エレベーターのドアが開くと、
目の前に呉湾が広がる。右を見ると、
海に突き出た突端がある。その岬
の先端に海上保安大学校があり、
その先の島影は江田島である。

左側に目を転じる。こちらにも、
海に岬が出ていて、多くのクレ
ーが見える。造船所を中心とした
工場群である。戦艦大和もここで
造られた。海上自衛隊の自衛艦や
潜水艦の基地も見える。

時計回りに右に歩を進めよう。
呉の西の方角である。眼下に建物
の屋根がある。大和ミュージアム
である。海軍と造船で栄えた呉で
あったが、時代の流れから遅れた
ために、街の活気は極端に失われた。
それを救ったのがこのミュージア
ムであった。

そのすぐ側に、大きな黒い潜水艦
が陸揚げされて展示されているの
が見える。「鉄のくじら館」と呼ば
れている海上自衛隊の資料館である。
この潜水艦を海から引き上げ、道
路を跨いでこの場所に運ぶ作業が、
開館前に話題になった。

この展望棟は三六〇度の展望で
ある。南側と西側のご案内で紙数
が尽きた。北と東側は次回の案内
にゆずりたい。



訃報

● 信野友嗣先生

(三次市甲奴町宇賀)

平成二十二年十二月十五日逝去

満八十八歳

本校に昭和二十九年四月か
ら三十七年四月まで勤務。先
生はいつも熱心且つ穏やかに、
主に古文の指導をされました。
謹んでご冥福をお祈りいた
します。

編集後記

過日、痛ましい東日本大震災が
起こりました。亡くなられた方に
対し謹んでご冥福をお祈りし、被
災された方に心よりお見舞申し上
げます。

会報第十三号発行となりました。
今回の「同窓会改革」により、十
二月から八月総会に向けての発行
となりました。決定後、時間的に
余裕がなく不十分な編集となりま
したことをお詫び申し上げます。

伝統の継承と新たな発展は普
遍のテーマだと思います。同窓会
の活性化へ向けての新たな出発
次号からは一層充実した紙面づ
くりを行っていきたいと思います。
今後ともよろしくお願ひ申し上げ
ます。
(広報委員会)

